

<一般社団法人ジャパン・リスク・フォーラム主催>

長期停滞論は依然有効か？ —不確実性を増した世界経済と日本の出口戦略は？—(仮)

拝啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さてこの度、来る9月11日(月)に、「長期停滞論は依然有効か？—不確実性を増した世界経済と日本の出口戦略—」(仮)と題し、ジャパン・リスク・フォーラムを開催させていただきます。

一般社団法人ジャパン・リスク・フォーラム(JRF)は、金融・保険業界、実業界、コンサルティング、等でリスク管理に携わる専門家による「ストレスシナリオ研究会」が中心となり、主に日本に関わる経済的リスク、地政学的リスク、そして大規模自然災害リスクによるストレスシナリオとその対応策等に関し、2010年以來活動を続けてきており、2015年8月には一般社団法人として登録し、活動を強化してきています。

今回の拡大フォーラムでは、世界各国の政治体制が揺れる中、米国を中心とした世界経済の先行きをどう見るか、そこでの日本が取り得る道筋や戦略に焦点を当てつつ、グローバルマクロレビューや地政学的リスクの観点も踏まえて、リスクシナリオの議論を深めていきたいと思えます。

JRFのメンバーを始め各界の専門家を結集し、専門的、具体的かつ率直に、議論を深化させ、共有する機会を持ちたいと存じますので、金融機関や事業法人の経営や意思決定にかかわる立場の皆様には是非ご参加を頂きたいと存じます。

今回のフォーラムは、本テーマに強い関心をお持ちと思われる限られた方々だけにお声をお掛けして行います。また参加された皆様のご意見・ご質問等を公開することはありません。

皆様におかれましては、上記趣旨をご理解頂き、何卒宜しくご参加を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

一般社団法人ジャパン・リスク・フォーラム
会長 有吉 章
幹事一同